
経営効率化の取組み

2025年4月
北陸電力株式会社

北陸電力における経営効率化への取組み

- 2023年度の料金改定において、当社は原価算定期間（2023～2025）における効率化として132億円/年を計画。
- 2024年度は、賃上げや物価上昇影響があったものの、AI技術の活用による滞船料の削減等の需給関連における取組みの推進により、135億円の効率化を達成。
- 2025年度についても、物価上昇が見込まれる厳しい状況ではあるが、引き続き、全社を挙げて経営効率化に取り組んでいく。

	主な内容	実績 (2023年度)	実績 (2024年度)	計画 (3か年平均)
需給関連 (燃料費、他社購入・ 販売電力料)	<ul style="list-style-type: none"> ・AI技術を活用した最適な設備・需給運用 <ul style="list-style-type: none"> － 水力発電所・ダム流入量予測 － 火力発電所・ボイラー制御最適化 － 電力需給予測の向上 ・燃料調達コストの更なる低減 	52億円	58億円	47億円
設備関連 (修繕費・資本費 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・上流購買の推進による更なる資材調達価格の低減 ・新技術の導入による工法等の見直し 等 	62億円	57億円	56億円
その他 (人件費・その他経費)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツールの活用等による業務生産性向上 ・寮・社宅の廃止等の福利厚生制度の見直し ・諸経費の削減 等 	22億円	20億円	28億円
合計		136億円	135億円	132億円

* 効率化額については、計画上想定していなかった賃上げや物価上昇影響を含む(左記要因による費用増を非効率化としてカウント)。